

学校経営 ビジョン	「学力向上と生徒指導の充実を柱とした、けじめのある元気な子どもの育成」	① 生徒指導を基盤とした学力向上の取組を通して、生徒の生きる力の形成を図る。 ② 生徒指導の充実を図り、落ち着いた学校生活の中で、生徒全員が授業に打ち込める環境づくりに努める。
--------------	-------------------------------------	---

評価項目	評価指標	具体的数値目標	評価規準		自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	関係者評価	学校関係者の評価のコメント
			指標別	総合	指標別	総合			
「知」	学業指導の徹底と生徒の主体的な授業の実践（1単位時間で完結する授業の実践、授業評価）	Q-U 検査学習意欲点 15 以上の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満	4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年平均が 79%で、目標を達成できた。 ・ QUの結果を活用した学級づくりができています。11月の結果で2年生が若干下がっているため、後半から改善を図った。 ○ 全学年平均が 80%で目標を達成できた。 ・ 1年生は 87%であるが他学年が 77%であり、今後さらに指導方法の改善を図っていきたい。 ○ 全学年平均が 80%で目標を達成できた。 ・ デジタル教科書や電子黒板、インターネットを活用した授業が定着してきている。 ・ 教科によっては活用が不十分なものもあり、校内研修を充実させ全職員で活用していきたい。 ○ Web学習単元評価システムは、既習領域において 100%活用している。 ○ 10月末の調査では目標を達成できていない。1月の調査は、実力テスト直前であったこともあり、家庭学習の平均時間は、1年生 129分、2年生 128分、3年生 158分。 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習では、保護者との連携が重要であり、これからも努力が必要と思う。その他は、よい評価が出ているので継続してほしい。 ○ 全体的に良い取組ができています。家庭学習における保護者との連携方法を検討する必要がある。 ○ 学習指導及び生徒の主体的な授業参加、わかる授業の実践においては、期待以上の結果で、目標を達成できたと思う。 ○ 教師の指導の限界が叫ばれているが、授業評価「理解度」の項目では 80%以上の目標を設定してほしい。 ○ 教科によっては ICT活用が不十分であるので改善してほしい。 ○ 試験前だけでなく、日常の家庭学習の習慣化を徹底してほしい。
		学校独自の調査（授業評価）の理解度の項目で「4」「5」の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満					
	ICTの活用など生徒がわかる授業の実践	学校独自の調査（授業評価）の ICTの活用項目で「4」「5」の生徒が 70%以上	4…70%以上 2…30%～50%	3…50%～70% 1…30%未満	4				
		Web学習単元評価システム活用 100%							
家庭学習の習慣化と充実（家庭との連携）	家庭学習が、1年は 100分、2・3年は 2時間以上の生徒が 70%以上	4…全学年 70%を超える 3…2つの学年が 70%を超える 2…1つの学年が 70%を超える 1…全学年 70%を超えない		2					
「徳」	望ましい学級集団づくり（Q-U検査）	2回目の Q-U 検査においてすべての学級が、学級生活満足群に所属する生徒の全国平均値（37%）以上	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学級とも全国平均値（37%）を大きく上回り、学校平均 72%であった。 ・ 検査結果を用いて職員研修を重ねてきた成果が表れ、2回目が伸びている。 ○ 全学級とも全国平均値（15点）を上回り、学校平均 18.1であった。 ・ 人権教育の研修と実践、道徳の時間を毎週確実に実施するなどの成果であると考えます。 ○ 全学年平均が 4.0で目標を達成できた。 ・ 積極的に地域の行事（クリーン作戦、夏まつり、どんど焼き等）に生徒を参加させていることが、地域への愛着につながっている。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ よい評価が出ているので、これからも継続してほしい。 ○ 学級集団づくり、心の育成の取組は、教職員の目が行き届いていると思う。このまま協力をお願いしたい。 ○ 挨拶を笑顔とともにしてもらっているので好感が持てる。学校生活の充実感を感じる。 ○ 地域の行事に参加させることによって、地域への愛着につながっている。
	生徒と向き合う時間の確保と思いやりの心の育成（いじめ撲滅）	2回目の Q-U 検査においてすべての学級が、友人関係得点の全国平均値（15点）以上	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級	4				
	生徒会活動の充実と地域に貢献できる活動の推進（ふるさとを愛する心の育成）	生徒・保護者アンケート（4段階評価）で、3.0以上	4…全学年 3.0を超える 3…2つの学年が 3.0を超える 2…1つの学年が 3.0を超える 1…全学年 3.0を超えない		4				
「体」	基礎体力や運動能力の向上	新体力テストにおいて、全学年 6種目以上で県平均を上回る。	4…5以上 2…1～2	3…3～4 1…0	2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生男子、3年生女子が、県平均を 6種目上回った。2年生でも 5種目は上回っており、体育の時間や部活動などで体力の向上を更に推進していきたい。 ○ 虫歯治療率 84%で目標を達成できた。 ・ 養護教諭や学級担任、部活動顧問が再三治療を呼び掛け、虫歯治療推進集会を実施し、虫歯治療が向上した。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの成績向上を目指して努力してほしい。 ○ 虫歯治療は長年の課題である。次年度は更に 84%以上になるよう頑張してほしい。 ○ 基礎体力や運動能力の向上については、体育の授業や部活動などで地道に取り組む必要がある。
	健康的な生活習慣の育成と立腰指導	むし歯治療率 70%以上	4…60%以上 2…30%以上	3…40%以上 1…30%未満	4				
「食」	年間を通して給食残食ゼロ、朝食をとらない生徒ゼロ	全ての学級が年間を通して残食 0	4…5学級 2…1～2学級	3…3～4学級 1…0学級	4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で、残食 0を達成し、現在も継続中である。 ・ 4月の徹底した給食指導や日頃からの食に対する指導の効果であると考えます。 ○ 朝食をとらない生徒が現在は 0人である。時々取らない生徒は各学年に数人いる。 ・ 学級担任や養護教諭が継続的に個別に相談し改善を促している。 ○ 年間 3回の弁当の日を実施した。 ・ 2年生の総合的な学習の時間では、栄養教諭を講師に招き、弁当づくりを学習することができた。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 残食 0の継続はずばらしい。指導の効果だと思う。朝食を取らない生徒への個別相談は成果が上がっている。継続してほしい。 ○ 朝食抜きは数年前までは多数と聞いていたが、今ではほとんどいないので随分改善されたと思う。 ○ 全生徒が朝食を毎日取る習慣を保護者と連携して取り組む必要がある。 ○ 残食 0達成の日は、放送などで発表し、残食 0が当たり前としてほしい。
		朝食抜きの年間のべ 0人	4…0人 2…のべ 30人	3…のべ 15人 1…のべ 30人以上	3				
	「弁当の日」の充実	弁当の日を 3回以上実施	4…4回以上 2…2回実施	3…3回実施 1…1回実施	3				

次年度の方向性についての校長所見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知」「徳」「体」「食」すべての項目において、3以上の評価をいただいております。次年度は体力テストの成績向上のために、具体的な実践を行ってまいります。 ○ 「生徒指導の充実」においては、明確な指導方針のもと関係機関との連携により組織的に取り組んできた成果が出ている。次年度からも学校経営ビジョン達成のために継続して実践してまいります。 ○ 今年度数値目標を達成した項目においては、次年度数値目標を高めていき、さらに努力をしてまいります。
------------------	--